

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	コミュニケーションサポートⅡ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	・集団行動や活動を通じて、集団内での行動の在り方について学ぶ。 目的意識を持って活動に取り組む。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～6	始業式			① 場所に合わせた適切なマナーを理解できる ② 場所に合わせた適切なマナーを実践できる ③ 他者の発表を理解し、意見を言える ④ 日本文化へ興味を持ち、理解できる ⑤ クラス以外の学生との交流できる ⑥ 各行事について振り返りができる		
	7～12	マナーコンテスト					
	13～18	前期終業式					
	19～24	後期始業式、防災訓練					
	25～30	ランゲージデイ					
	31～36	校外文化研修準備					
	37～42	校外文化研修					
	43～48	校外文化研修振り返り					
	49～54	後期終業式					
	55～60	クラス活動					
成績評価方法	平常点（100%）						
使用テキスト ／教材	なし						
関連科目	コミュニケーションサポートⅠ、コミュニケーションサポートⅢ						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	キャリアサポートⅡ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	山崎 弘						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	留学生としての日本国内での就職は日本で就労ビザを取得することであり、学生各々の国制に於ける職業獲得と異なる事情を理解し、本校での学習スキルを活かした職業獲得を目的とする。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	留学生としての就職活動の特性を理解する			① 日本の就職活動を理解する		
	3～4	新卒採用の仕組みとスケジュールを知る			② 内定までのスケジュールを理解する		
	5～8	業界・職種理解と国際業務適用を理解する			③ 職業分類を理解し、目標職種を絞る		
	9～14	エントリーシートに書くべき内容の収集			④ 履歴書、エントリーシートの基本情報を収集		
	15～26	エントリーシートの作成演習			⑤ 作成方法を理解し、日本式履歴書を完成させる		
	27～33	自己分析の実施			⑥ 自己分析による強みと弱みを知る		
	34～35	企業研究とインターンシップの優位性			⑦ 職業獲得のための研究項目を絞り込む		
	36～37	求められる人材像の理解			⑧ 企業が求める人材特性と自己分析の比較ができる		
	38～43	企業の組織とガバナンス			⑨ 日本企業の問題点と特徴を理解する		
	44～45	コンプライアンスおよびステイクホルダー			⑩ 日本企業の課題と社員の義務と権利を知る		
	46～47	職業適性とは			⑪ 職業適性検査の目的と回答の演習		
	48～58	非言語の適正能力の基礎			⑫ 基本的な数学的論理思考ができる		
	59～60	成績評価科目試験					
成績評価方法	テキストに提示されている課題、科目修了試験、授業への参加評価 課題（30%）科目修了試験結果（50%）平常点評価（20%）						
使用テキスト ／教材	オリジナルテキスト・「キャリアサポート」、配布資料						
関連科目	キャリアサポートⅠ、キャリアサポートⅢ、面接対策						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ICTリテラシーⅡ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	石黒 いずみ						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
実技		2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	基本的なPC操作の知識とスキルの習得を目指します。日本語タイピング入力、Excelで計算やグラフの入った表作成、Wordでさまざまなビジネス文書作成を習得していきます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業	○	フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	パソコンや入力操作の基本 日本語タイピング					
	3～6	Windows基本操作 メールとTeamsの利用			① パソコンの基本操作が理解できる		
	7～8	情報モラルと情報セキュリティ			② データの管理方法が理解できる		
	9～12	Excel演習 Excelの基本			③ スムーズに日本語入力ができる		
	13～16	Excel演習 表の作成と編集			④ メールやWebコミュニケーションについて理解できる		
	17～20	Excel演習 数式と参照			⑤ 情報モラルや情報セキュリティについて理解できる		
	21～30	Excel演習 課題			⑥ Excelの概要と基本操作ができる		
	31～32	Word演習 基本操作、書式設定			⑦ さまざまな機能や数式を理解できる		
	33～36	Word演習 ビジネス文書作成			⑧ Wordの概要と基本操作ができる		
	37～40	Word演習 表の作成と編集			⑨ さまざまなビジネス文書を作成できる		
	41～50	表計算検定模擬練習をする			⑩ 日本語でのタイピング速度が速くなる		
	51～60	日本語ワープロ検定模擬練習をする					
成績評価方法	校内確認テスト（40％）課題（40％）平常点（20％）						
使用テキスト ／教材	留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint 入門（技術評論社） 日本語ワープロ検定試験問題集、情報処理検定試験 表計算問題集						
関連科目	ICTリテラシーⅢ						
その他	※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	マナー・ホスピタリティⅡ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	齋藤 悦子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	サービス接客検定試験3級の学習を通じて、日本の一般常識および社会常識の理解を深め、サービスマインドを養うことを目的とします。また、日本での就職に必要な対人スキルを身につけ、就職活動に主体的に取り組める状態を目指します。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～2	マナーの基礎知識・マナーブックの復習					
	3～8	サービススタッフの資質			① S-AIRのマナーを徹底する。		
	9～14	専門知識			② スーツ着用時は清潔感、さわやかさを意識した着こなしができる。		
	15～20	一般知識			③ 外観管理できる。		
	21～26	対人技能			④ サービススタッフとして愛想、愛嬌の大切さを理解する。		
	27～32	実務技能			⑤ 接客用語を理解し、使えるようになる。		
	33～38	ロールプレイング試験対策			⑥ サービス業に関わる年中行事、商業用語、経済用語を理解する。		
	39～48	検定対策、小テスト			⑦ 慣用表現、カタカナ用語を理解する。		
	49～60	就職試験準備（模擬面接）			⑧ 挨拶や立ち居振る舞いなど一般的なマナー、礼儀作法を身につける。		
					⑨ 状況に合わせて適切な敬語を使えるようになる。		
				⑩ 話し方によって気配り、気遣いを表現できるようになる。			
				⑪ 面接で自己表現できるようになる。			
成績評価方法	平常点(マナー) (60%) 提出課題 (20%) 小テスト (20%)						
使用テキスト ／教材	サービス接客検定公式テキスト3級、サービス接客検定実問題集3級、MANNER BOOK 2025						
関連科目	マナー・ホスピタリティⅢ						
その他	身だしなみを整えて受講すること。※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	面接対策						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	小島 菜那子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・実技	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	面接に必要な準備や対策を行い、面接の際に自分を表現できるようになる。						
授業手法	・対面 <input type="radio"/>	・遠隔 <input type="checkbox"/>	・対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	<input type="radio"/>	グループワーク		ロールプレイ <input type="radio"/>
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～10	学生時代に力を入れたこと			① 就職活動に必要な準備がわかる ② エントリーシートが書ける ③ 面接時のマナーがわかる ④ 面接で聞かれる質問への準備ができる ⑤ 学生時代に力をいれたことが書ける ⑥ 自己PRが書ける ⑦ 志望動機が書ける ⑧ 自分の魅力を伝えられる		
	11～20	自己PR					
	21～25	面接で聞かれる質問への準備①					
	26～35	志望動機					
	36～40	面接で聞かれる質問への準備②					
	41～50	マナー（印象、服装、会話、電話）					
	51～55	面接練習（ロールプレイ）					
	56～60	模擬面接					
成績評価方法	平常点（70%）提出物（30%）						
使用テキスト ／教材	留学生のための就職内定ワークブック						
関連科目	キャリア開発Ⅱ						
その他	じっくり考え、たくさん練習を行い、本番に向けて準備しましょう。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	英語 I						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	田中 彰子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	60	2	
授業目的 到達目標	・ TOEICテスト500点相当の英語力を付ける						
授業手法	・ 対面 <input type="radio"/>	・ 遠隔 <input type="checkbox"/>	・ 対面/遠隔 <input type="checkbox"/>	・ オンデマンド <input type="checkbox"/>			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1~2	自己紹介、授業の進め方			① TOEICによく出る英単語を覚える		
	3~20	単語テスト			② 同義語を考える		
	21~40	リーディング問題を解く			③ 英文法を理解する		
	41~60	リスニング問題を解く			④ 文章をすばやく読む力をつける		
					⑤ 質問の意図を理解する		
					⑥ 推測する力を養う		
					⑦ 時間管理ができる		
成績評価方法	科目修了試験（50%）単語テスト（30%）平常点（20%）						
使用テキスト ／教材	『TOEIC L&Rテスト 英文法出るところだけ!』『TOEIC L&Rテスト リスニング出るところだけ!』『TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ』						
関連科目	英語 II						
その他	少しずつ単語を覚え、耳を慣らし、スコアアップを目指しましょう！						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	ビジネス言語演習Ⅱ						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	安森 亜寿香						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	270	9	
授業目的 到達目標	日本語能力試験N1レベルの力を習得する。ビジネスで円滑に業務ができる日本語力をつける。						
授業手法	・対面 ○	・遠隔	・対面/遠隔	・オンデマンド			
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク		グループワーク		ロールプレイ
	プレゼンテーション		PBL		模擬授業		その他
授業 内容 ・ 授業 計画	時間数	内容概略				わかる目標・できる目標	
	1～36	語彙力の向上、運用力の強化「話題別に学ぼう」				① 語彙力がつき、正しく運用できる ② 文法の意味を理解し、正しく運用できる ③ 時間を意識して読解文を読む力がつく ④ 時間を意識して読解の設問を解く力がつく ⑤ 日本語のニュース記事が読める ⑥ ニュース記事の概要が説明できる ⑦ 自分の意見・考えを発話する力がつく	
	37～62	語彙力の向上、運用力の強化「性質別に学ぼう」					
	63～84	文の文法Ⅰ ことがらを説明する					
	85～116	文の文法Ⅱ 主観を含めて説明する					
	117～124	文の文法Ⅲ 主観を述べる					
	125～160	文章読解の基本 短文・中文					
	161～174	文章読解の基本 長文					
	175～200	基本的な読み方と実戦練習					
	201～240	JLPT模擬試験・解説					
	241～266	ニュースの発表・スピーチ					
	267～270	科目修了試験・解説					
成績評価方法	科目修了試験50% 小テスト・まとめテスト40% 平常点10%						
使用テキスト ／教材	語彙・文法：『新完全マスター』スリーエーネットワーク 読解：『必修パターン読解』						
関連科目	全科目						
その他	授業で学習した内容を定着させるために、宿題と復習は必ずやってくることを。						

授業科目名	選択科目Ⅰ（エアライン科グランドスタッフ選択）						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	中西 裕子、阪本 知恵						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	180	6	
授業目的 到達目標	【1】旅客実習Ⅰ：グランドスタッフに必要な業務知識の基礎と基本的な接客スキルやホスピタリティを身に付けることを目標とします。 【2】GS面接：航空業界の面接試験の対応力を対面・オンラインの両面から習得することを目標とします。 【3】航空知識Ⅰ：航空業界の幅広い仕事への理解を深めながら、専門用語やレターコード、航空機・空港に関する知識と規定を実践的に身につけます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1～10	空港支援業務、グランドスタッフ業務の概要、必要なスキル・資質・エアランス			①航空業界と空港の業務を知ることができる		
	11～30	カウンター業務基礎知識、国内線搭乗手続き・アナウンス、手荷物基礎知識			②航空業界の各コードを理解することができる		
	31～40	搭乗口業務基礎知識（出発・NOSH）、制限旅客			③世界の航空機とメーカーについて知る		
	41～46	（株）ドリームスカイ名古屋連携授業			④日本語・英語で搭乗手続きができる		
	47～54	前期確認テスト、国内線カウンターロールプレイトテスト			⑤危険物を理解して手荷物預かりの案内ができる		
	55～70	国際線基礎知識（渡航書類）、LL業務、危険物知識			⑥伝わるアナウンスができる（日本語・英語）		
	71～80	国際線カウンター業務、チェックインロールプレイングテスト（英語）、他コース連携授業			⑦可搬での正しい伝え方ができる		
	81～90	面接の基本マナー（身だしなみ・姿勢・発声・表情・入室・退室、名乗り、お辞儀）			⑧あらゆる種類の手荷物タグの役割を理解できる		
	91～100	自己分析、自己紹介、自己PR			⑨搭乗口での一連の業務を理解できる		
	101～120	面接の基本的な質問、企業別過去出題質問による面接（グループ・個人面接）			⑩国際線、渡航書類についての知識を得る		
	121～130	企業別過去出題質問による面接（グループ・個人面接）			⑪おもてなしの心を理解できる		
	131～136	グループディスカッション			⑫自己について知る		
	137～146	空港について（国内外空港の種類、滑走路）			⑬回答の引き出しをビルドアップできる		
147～156	航空機概論			⑭自分の回答に責任を持って答えることができる			
157～174	運航の安全			⑮突発的な質問に対して、時系列を守り、自分の言葉で落ち着いて回答できる			
175～180	科目修了試験						
成績評価方法	【1】ロールプレイトテスト（日本語・英語）30% 前期確認テスト30% 連携企業評価10% 科目修了試験30% 【2】グループ模擬面接40% 提出物10% 取組み姿勢10% 科目修了試験（個人模擬面接）40% 【3】小テスト（20%） 前期確認テスト（20%） 科目修了試験（60%）						
使用テキスト／教材	・旅客実習テキスト・面接テキスト・航空知識テキスト（オリジナル） ・教員作成プリント						
関連科目	選択科目Ⅱ						
その他	エアランスを整え、緊張感をもって授業に参加すること。制服（スカーフ）着用のこと。						

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	選択科目 I（ホテル・ブライダル科選択）						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	青柳宗宏・田寄節子・前川理子						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	180	6	
授業目的 到達目標	ホテル概論：ホテル業界を体系的に理解するため、業界の歴史やホテルブランド、職種ごとの業務や専門用語など、業界全般の知識習得を目標とします。知識定着確認のためホテルビジネス実務検定試験に挑戦します。 テーブルコーディネート：テーマごとのテーブルコーディネートを考え、セッティングできることを目的とします。コーディネートに欠かせない装花や色彩の知識を深め、季節のコーディネートを作るなど、感性を磨きます。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業		反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL		模擬授業	○	その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1-20	ホテルの基礎・宿泊部門			①ホテルの基礎、ホテル英語の基本を身につける。		
	21-80	料飲部門・宴会部門・調理部門			②宿泊・料飲・宴会・調理各部門の知識を身につける。		
	81-100	ホテルビジネス実務検定試験・解説			③ホテルブランド知識を身につける。		
	101-104	会場の設営・撤収、テーブルセッティング			④宴会場の設営とテーブルセッティング		
	105-112	プレートの持ち方、トレーの使い方、ワイン・シャンパン・ドリンクの注ぎ方			⑤ドリンクサービス、プレートサービス		
	113-116	サーバーの使い方（パンサービス）、コーヒーサービス			⑥トレーサービス、サーバーを使用したサービス		
	117-120	フルコースサービスの組み立て			⑦コーヒー、フルコースサービス		
	121-124	テーブルコーディネートの目的と理念			⑧コーディネートの基礎がわかる		
	125-128	テーブルコーディネートコラージュ			⑨コラージュがわかる		
	129-132	コーディネート、デモンストレーション			⑩色彩の基礎がわかる		
	133-142	イメージパターン表現と定義、テーブルプランニング			⑪プランニングがわかる		
	143-156	テーブルコーディネート実習・発表			⑫記念日と歳時記がわかる		
	157-160	和のテーブルコーディネート、世界の記念日と日本の			⑬テーブルコーディネートができる		
	161-164	ブライダルテーブル装飾アイテムと留意点			⑭フラワーアレンジメントがわかる		
165-180	テーブルフラワー装飾・実習、色彩配色の基礎			⑮花の特徴がわかる			
成績評価方法	青柳・水谷：習熟度確認テスト（100%） 前川：実習・発表（30%）・平常点（30%）・課題提出（40%） 青柳担当（60%）、水谷担当（10%）、前川担当分（30%）の合算で評価。						
使用テキスト ／教材	・ホテルビジネス基礎編、教員配布資料 ・ホテルビジネス実務検定試験の練習過去問題集 ・TEXTBOOKテーブルコーディネート・配布プリント・ゼクシイ・スケッチブック・のり・はさみ						
関連科目	選択科目 II						
その他							

シラバス（授業概要）

2026 年度

授業科目名	選択科目 I（グローバルビジネス科選択）						
学科・コース	国際ホスピタリティ科						
担当教員	アンソニー・クック、山梨千恵子、杉山和代、伊藤はつみ						
授業形態(主)	授業形態	履修年次	履修学期	必修・選択	総時間数	単位	
演習	・講義	2	通年	必修	180	6	
授業目的 到達目標	観光・旅行場面や時事ニュースを題材に、実用的な英語運用力と異文化理解力を養う。世界の文化・社会への関心を高め、英語で情報を理解し、自分の考えを発信できる力の基礎を築く。空港・ホテル・買い物等の基本表現を使いこなし、英語ニュースの要点理解・要約・意見交換ができる。異文化の違いを踏まえ、自分の考えを簡潔に英語で伝えられるようになる。						
授業手法	・対面	○	・遠隔		・対面/遠隔		・オンデマンド
アクティブ ラーニング	事前学習型授業	○	反転授業		調査授業		フィールドワーク
	双方向アンケート		ペアワーク	○	グループワーク	○	ロールプレイ
	プレゼンテーション	○	PBL	○	模擬授業		その他
授業内容・ 授業計画	時間数	内容概略			わかる目標・できる目標		
	1-20	観光・旅行英語（1）エアライン・空港			①Identify basic facts about different countries.		
	21-80	観光・旅行英語（2）ホテル・レストラン			②Understand key details of various foreign countries, e.g. capital cities.		
	81-100	観光・旅行英語（3）ショッピング			③Discuss food, culture, and tourism using simple English.		
	101-104	世界地図・都市・海外観光と文化・世界遺産			④Participate in pair interviews about cultural topics.		
	105-112	Country study 1: culture, cuisine, and tourism			⑤ Ask and answer basic questions about countries.		
	113-116	Country study 2: culture, cuisine, and tourism			⑥ Express opinions about travel and culture.		
	117-120	Country study 3: culture, cuisine, and tourism			⑦ Recognize common greetings in various languages.		
	121-124	グローバル社会の基礎知識、「異文化理解力」とは			⑧ Write short responses about cultural topics.		
	125-128	ハイコンテキスト文化・ローコンテキスト文化			⑨ Express preferences of food, travel destinations.		
	129-132	英語ニュース①（日本の出来事）リスニング・ディクテーション・リピーティング・語彙確認・簡単なディスカッション			⑩ Communicate cultural information with increased confidence.		
	133-142	英語ニュース②（海外の出来事）リスニング・ディクテーション・リピーティング・記事語彙確認			⑪ 異文化理解の基本を理解する		
	143-156	語彙・English Expressions・Weekly Pop Quiz			⑫ ローコンテキスト文化・ハイコンテキスト文化の知識の習得		
157-160	英語ニュース④（海外の出来事）読解・リピーティング・意見交換			⑬ 時事英語の基本的な語彙や表現を理解し、簡単な英文で使うことができる。			
161-164	英語ニュース⑤（学生の関心のある時事テーマ）ディスカッション強化			⑭ ニュースの内容について、自分の意見や感想を簡単な英語で伝えることができる。			
165-180	英語ニュース⑥（社会・文化・環境など）語彙・要約練習						
成績評価方法	習熟度確認テスト（60%）、平常点（40%）						
使用テキスト／教材	・配布プリント						
関連科目	選択科目 II						
その他							